

スマイル通信



2016年10月号
Vol. 3

発行 トータルマッサージ・スマイル 0467-81-4100 茅ヶ崎市芹沢 1083-3

ごあいさつ ～おかげさまで7年目に入りました！～

今年も早いものでもう10月ですね。9月は雨が多く急に寒くなりましたが、下旬には暑さが戻ってきてしまいましたね。そのせいか体調を崩されている患者さんもいらっしゃいます。みなさまもご自愛ください。

さて、トータルマッサージ・スマイルもおかげさまでこの10月1日で開業から丸6年となりました。これまで何とか続けることができましたのも皆様のおかげです。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

ラッキーセブンの7年目に、再びスマイル通信を発行することにしました。その間、訪問マッサージの仕事に加えて、パートタイムで高齢者ディサービス施設に勤務し機能訓練指導員として利用者さんに体操指導などもしていました。しかし徐々に訪問マッサージの患者さんが増えてきたので、昨年夏には辞めさせていただき、現在は訪問マッサージの仕事のみで頑張っています。



当院のマッサージについて ～ソフトなマッサージです～

当院のマッサージは、個々の患者さんの状態に応じて、施術する部位や、強さ加減、マッサージ手技を選択して行っています。ご高齢の患者さんが多いので、体に負担の少ないなるべくソフトな気持ちの良いマッサージやストレッチを心がけています。時にはやや物足りなく感じられることもあるかもしれませんが、強すぎる刺激は筋肉を痛め、後で痛みが出たりする場合があります。適時患者さんに力加減を伺い、適切な刺激量を心がけています。



訪問マッサージについて ～健康保険を使って受ける場合～

健康保険を使ってマッサージを受けられる場合があります。たとえば、脳梗塞、脳出血などの後遺症により、手足に麻痺がある方。パーキンソン病、脊髄小脳変性症などの難病により、歩行などが困難な方。あるいは変形性膝関節症や関節リウマチなどで手足の関節が変形し動く範囲に制限がある方などです。これらの症状があり、かかりつけの医師の同意があれば、保険を使って受けることができます。詳しくはお電話で！（ご家族、担当ケアマネージャーともご相談ください）

これまで出会った患者さん ～うたのチカラってすごい！～

Tさん(当時75歳)は、私がまだ川崎の治療院に勤務していた10年ほど前に担当していた方です。くも膜下出血から水頭症を発症され頭に除圧のための管が入っていました。奥様、娘さんとの3人家族でしたが、娘さんは日中仕事に出かけて不在の為、奥さんが主に介護を担っていました。

歩行困難で屋内でも車イスを利用していました。表情は乏しく、ほとんど言葉も発しない状態でした。奥様の希望としては、長い入院と疾患の後遺症で脚の筋力が低下しているため、車いすやトイレへの移乗の介助が困難なので、少しでも筋力が回復されることを望んでおられました。

Tさんは大柄な体格だったので、小さな奥様に掛かる負担が大きかったのです。施術に対して特に拒むことはなく受け入れて下さっていたのですが、疾病の後遺症のためか、こちらの言っていることに対する反応が非常に遅く、動きかたも、とてもゆっくりしていました。マッサージやストレッチで体をほぐした後、いざ筋トレに入ると、なかなかご自分から動こうとしていただけず、苦勞していました。

ある日奥様からTさんは歌がとても好きだったと伺い、筋トレ時に、「1, 2, 3、、」と回数を数える代わりにTさんが好きだった歌を歌ってみたところ、なんとほとんど話をしないTさんが一緒に歌ってくれました。なぜだかからの動きも切れがでてきました。それ以降、毎回一緒に歌いながら、筋トレや移乗動作訓練をしたところ、徐々に筋力や立ち上がる力がついてきました。半年後にはなんと両手を支えれば歩くことができるように。

人間の脳は、興味のあること、好きなことに対しては反応が起こりやすいのかなと感じました。

これからも患者さんの眠っている力を引き出せるよう頑張ります！



編集後記 ～残念な夏になりました・トホホ～

今年の夏の家族旅行は8月上旬に2泊3日で伊豆の下田に行ってきました。現地に着いてすぐに海へ。ポディーボードをレンタルし挑戦。湘南の海よりやや波が大きく難しかったのですが、それでも何回かは上手く波に乗ることができました。もうすぐホテルに帰ろうかと思った矢先、いいままでより大きな波に乗り損ねて顔から海底に叩きつけられてしまいました。頸はグキッとなり、一瞬「やばい！」と思ったのですが、すぐに立ち上がり歩けたのでほっとしました。しかし左腕が痺れて感覚が鈍くなっており、頸や肩も非常に痛かったので、すぐにホテルに戻り近くの整形外科を受診しました。幸いレントゲン検査の結果は問題なかったのですが、医師には「しばらく安静に」と言われました。旅行の残り2日間は妻や子供たちの水族館散策やプール遊びも、見守るだけなるべく動かないようにしているという、ちょっと残念な旅行になってしまいました。現在は頸の痛みは概ね良くなりましたが、また左手の痺れが少し残っています。手を使う仕事なので、怪我をした時点では今後の事を考え非常に不安になりましたが、不幸中の幸いというか大事には至らず良かったです。しばらく海水浴はトラウマになってしまいそうです。

